

August

# コロニーやまがた

2024.8

No.21



山形県コロニー協会前 就サボ花壇

## INDEX

- 02 最低賃金引き上げに想う／  
令和5年度事業報告と令和6年度の事業計画の要点
- 03 令和5年度 事業報告  
令和6年度 事業計画
- 05 地域交流活動
- 06 各福祉サービス事業活動紹介
- 08 アビリンピック山形／  
仲間たちの声／人権を考える
- 10 寄付寄贈紹介・御礼／  
編集後記

# COLONY YAMAGATA

## 最低賃金引き上げに想つ

理事長 須貝 壽一

先日の豪雨災害により被害を受けた方々に、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と皆様の安全を心よりお祈り申し上げます。

2024年度の最低賃金について、中央最低賃金審議会の小委員会は7月24日に全国平均で時給1,054円に引き上げることを決定いたしました。これは現在の1,004円から50円の増加となり、22年連続の引き上げとなります。この決定は、生活保護受給額との逆転現象を解消し、労働者の権利を守るために必要な措置であり、憲法第25条に定められた「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する重要な役割を果たすものです。

しかしながら、最低賃金法が労働者を対象としている一方で、障害福祉サービスを利用する就労継続支援B型事業の利用者には適用されておりません。彼らは月額約14,000円の工賃と障害基礎年金2級月額約

68,000円の合計約92,000円で生活を余儀なくされております。この金額では、到底「健康で文化的な最低限度の生活」を維持することは困難です。

障害者は生活保護を受けなければならないのはあまりにも乱暴です。働きながら未来に希望を持つて生活できる社会を目指すべきであります。ILO基準では職業訓練中の最低限の生活保障は国が行うべきとされており、日本では障害者権利条約を批准した現在でも生活保障が不十分な状態が続いております。

最低賃金引き上げは一歩前進ではあります。障害者の生活の質を向上させるためにはさらなる取り組みが必要です。私たちの責務として、引き続きこの問題に真摯に取り組んでいく必要があります。

## 令和5年度事業報告と令和6年度の事業計画の要点

常務理事 鈴木 宏

令和5年度のトピックは、新型コロナ禍が第5類となりウイズコロナが始まったことだと思えます。私たちコロナーは、福祉の中でも高い収益を目指した就労支援事業を行い、障害者の雇用等を支援しています。社会活動や事業活動の再開には大きな期待を寄せました。一方、コロナーには基礎疾患を有する方や衛生管理等にも支援を要する方も多く働いており、手放しでの開放は仲間の命に繋がるリスクにもなります。疑わしきも含め受入れることを前提とする新時代の体制づくりには、これまで以上に徹底した支援や対策をコロナー全員で協力して実践してきました。残念ながら、物価高騰等の影響や想定を上まわる欠勤等があり、令和5年度は就労支援も福祉事業も厳しい事業結果となりました。しかし、長い我慢の時代を共に耐え、共に乗り越えた私たちは、計算書からは見えない財産を多く得たように感じています。

一つは、職場や社会の安全は保障されたものではなく、皆が協力し、

維持する努力の上のみ叶う環境だということ学びました。もう一つは、目的達成や自己実現を果たす上で、「他者の安全を考え、己の行動を管理する」力を磨き、仲間や家族等の活動や生活を共にする方への配慮を学びました。最後は、立ち上がる力です。決してあきらめず、仲間同士で支え合い、目標へ向けて共に力を合わせて歩もうと努力できる集団に磨きがかかりました。

令和6年度事業計画は、全員で進めていこうとする意志をまとめています。私たちは、仲間と自分のための計画達成に向け、今日も努力しています。



社会福祉法人山形県ユニコーン協会  
令和5年度 事業報告

新型コロナウイルス感染症は第5類に分類されたが、感染を理由に欠勤や利用休止するケースも各所であり、給付収入面にも影響が生じ、事業開設と安全な環境の保持にとっては難しいかじ取りとなった。一方、4年ぶりに規模を縮小のうえユニコーン祭りを開催し地域等との交流を再開した。また、全職員参集の研修を開催することができ、相互に研鑽や交流する機会が持てた。

印刷事業は、コロナ禍以前との比較では落ち込みは回復していない。2年目となった国立国会図書館の蔵書デジタル化事業は、当初計画の半数しか受注できなかったため、売り上げも半減する結果となった。ユニコーンセンターは、山形県の工賃向上事業にも参加し、オンライン作業の受託で工賃向上を目指したが、目標とした平均工賃の更新はかなわなかった。就労移行支援は、利用者の増加を目指し、積極的な対外的情報発信等の取り組みを進めていかなければならない。相談支援事業は、支援ニーズに対し支援体制の不足が地域課題となっている。村山障害者就業生活支援センターは、事業規模等に合った適切な事業委託の実現に向けて話し合いを継続していかなければならない。グループホームは、生活支援力の強化に努めた。児童発達支援と放課後デイサービスについては、児童指導員や保育士の確保に苦慮した。

最後に、福祉拠点としての事業継続のための管理を組織的に行うことが求められる中、各事業所でも感染症や衛生管理のみならず、緊急時や災害時の対応等も含めた計画や規程を策定した。

法人単位資金収支計算書

(自)令和5年4月1日(至)令和6年3月31日 (単位:円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
<b>収入</b>			
就労支援事業収入	196,180,000	192,097,849	4,082,151
障害福祉サービス等事業収入	383,818,000	375,971,597	7,846,403
経常経費寄附金収入	123,000	123,000	0
受取利息配当金収入	2,000	3,360	△1,360
その他の収入	16,969,000	18,430,611	△1,461,611
事業活動収入計(1)	592,092,000	586,626,417	10,465,583
<b>支出</b>			
人件費支出	305,570,000	301,988,284	3,581,716
事業費支出	23,334,000	21,174,262	2,159,738
事務費支出	68,465,000	64,335,742	4,129,258
就労支援事業支出	194,000,000	185,286,454	8,713,546
支払利息支出	795,000	794,155	845
その他の支出	535,000	434,511	100,489
事業活動支出計(2)	592,699,000	574,013,408	18,685,592
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,393,000	12,613,009	△8,220,009
施設整備等補助金収入	1,050,000	1,049,400	600
施設整備等寄附金収入	218,000	218,000	0
固定資産売却収入	110,000	110,000	0
施設整備等収入計(4)	1,378,000	1,377,400	600
設備資金借入金元金償還支出	5,004,000	5,004,000	0
固定資産取得支出	12,564,000	12,505,343	58,657
施設整備等支出計(5)	17,568,000	17,509,343	58,657
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△16,190,000	△16,131,943	△58,057
その他の活動による収入	0	978,060	△978,060
その他の活動収入計(7)	0	978,060	△978,060
積立資産支出	1,000	31	969
その他の活動による支出	29,000	26,550	2,450
その他の活動支出計(8)	30,000	26,581	3,419
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△30,000	951,479	△981,479
予備費支出(10)	—	—	—
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△11,827,000	△2,567,455	△9,259,545
前期末支払資金残高(12)	276,326,437	276,326,437	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	264,499,437	273,758,982	△9,259,545

法人単位事業活動計算書

(自)令和5年4月1日(至)令和6年3月31日 (単位:円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
<b>収入</b>			
児童福祉事業収益	1,203,070	1,203,070	0
就労支援事業収益	192,097,849	214,887,973	△22,790,124
障害福祉サービス等事業収益	374,768,527	357,032,125	17,736,402
経常経費寄附金収益	123,000	50,000	73,000
サービス活動収益計(1)	568,192,446	571,970,098	△3,777,652
<b>費用</b>			
人件費	300,530,284	282,014,046	18,516,238
事業費	21,174,262	23,400,728	△2,226,466
事務費	64,335,742	67,748,427	△3,412,685
就労支援事業費用	199,712,048	224,154,649	△24,442,601
減価償却費	26,431,806	27,289,862	△858,056
国庫補助金等特別積立金取崩額	△4,923,191	△4,814,815	△108,376
徴収不能引当金繰入	191,400	282,660	△91,260
サービス活動費用計(2)	607,452,351	620,075,557	△12,623,206
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△39,259,905	△48,105,459	8,845,554
受取利息配当金収益	3,360	3,409	△49
その他のサービス活動外収益	18,430,611	22,078,557	△3,647,946
経常経費補助金等収益	16,478,910	20,563,324	△4,084,414
サービス活動外収益計(4)	18,433,971	22,081,966	△3,647,995
支払利息	794,155	822,866	△28,711
その他のサービス活動外費用	434,511	272,744	161,767
サービス活動外費用計(5)	1,228,666	1,095,610	133,056
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	17,205,305	20,986,356	△3,781,051
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△22,054,600	△27,119,103	5,064,503
施設整備等補助金収益	1,049,400	37,796,933	△36,747,533
施設整備等寄附金収益	218,000	218,000	0
固定資産売却益	109,999	30,000	79,999
その他の特別収益	282,660	116,800	165,860
特別収益計(8)	1,660,059	37,943,733	△36,283,674
固定資産売却損・処分損	1	2	△1
国庫補助金等特別積立金積立額	1,049,400	34,111,866	△33,062,466
特別費用計(9)	1,049,401	34,111,868	△33,062,467
特別増減差額(10)=(8)-(9)	610,658	3,831,865	△3,221,207
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△21,443,942	△23,287,238	1,843,296
前期繰越活動増減差額(12)	357,070,523	381,157,761	△24,087,238
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	335,626,581	357,870,523	△22,243,942
基本金取崩額(14)	—	—	—
その他の積立金取崩額(15)	—	—	—
その他の積立金積立額(16)	31	800,000	△799,969
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	335,626,550	357,070,523	△21,443,973

法人単位貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	300,826,165	流動負債	38,846,430
現金預金	187,700,614	事業未払金	13,069,682
事業未収金	31,132,729	その他の未払金	4,842,998
未収金	671,529	1年以内返済予定設備資金借入金	5,004,000
未収収益	72,178,676	未払費用	1,112,375
仕掛品	1,609,600	預り金	271,023
原材料	1,995,553	職員預り金	4,357,352
立替金	3,959,088	前受金	0
前払金	27,000	賞与引当金	10,189,000
前払費用	1,742,776		
徴収不能引当金	△191,400		
固定資産	517,281,249	固定負債	106,874,010
基本財産	248,826,762	設備資金借入金	69,976,000
土地	76,997,713	退職給付引当金	36,898,010
建物	171,829,049	負債の部合計	145,720,440
その他の固定資産	268,454,487	純資産の部	
土地	9,356,400	基本金	164,628,946
建物	49,082,829	第1号基本金	164,628,946
構築物	10,807,760	国庫補助金等特別積立金	94,996,489
機械及び装置	21,539,209	その他の積立金	77,134,989
車輦運搬具	4,291,121	修繕積立金	4,576,153
器具及び備品	53,311,187	備品等購入積立金	36,302,836
ソフトウェア	1,430,872	工賃変動積立金	36,256,000
投資有価証券	25,000	次期繰越活動増減差額	335,626,550
退職給付引当資産	36,898,010	(うち当期活動増減差額)	△21,443,942
修繕積立資産	4,576,153		
備品等購入積立資産	36,302,836		
工賃変動積立資産	36,256,000		
差入保証金	2,548,000		
長期前払費用	819,500		
定期預金	1,000,000		
預託金	209,610		
資産の部合計	818,107,414	純資産の部合計	672,386,974
		負債及び純資産の部合計	818,107,414

社会福祉法人山形県コープ協会

令和6年度 事業計画

【重点計画】

- ① 就労継続支援事業A型の売上向上と収支改善(印刷事業、デジタル化事業)
- ② デジタル化事業の内部稼働体制の強化と当事者の活躍支援、自主営業展開の強化
- ③ 経営状況の月次報告体制の改善(事務局)と、経営マネジメント強化(管理職)
- ④ 感染症対策の徹底を前提とした、制限からの目的重視の事業へのシフト
- ⑤ 感染症対策と事業継続計画等による各種災害等リスク対策の管理機能の強化
- ⑥ 地域から選択される福祉や支援の提供と、利用者利用率の確保
- ⑦ 職員の人材確保と育成、資質向上
- ⑧ コロニープライドの醸成と、気持ちよく共に働ける職場づくり
- ⑨ プライバシーマークの適切な運用管理と教育の継続、更新
- ⑩ 地域貢献・交流・連携活動の強化



令和6年度 当初予算

(自)令和6年4月1日(至)令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算額(A)	前年度予算額(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	就労支援事業収入	211,225,000	196,180,000	15,045,000
	障害福祉サービス等事業収入	383,345,000	383,818,000	△473,000
	経常経費寄附金収入		123,000	△123,000
	受取利息配当金収入		2,000	△2,000
	その他の収入	13,330,000	16,969,000	△3,639,000
	事業活動収入計(1)	607,900,000	597,092,000	10,808,000
支出	人件費支出	283,820,000	305,570,000	△21,750,000
	事業費支出	26,777,000	23,334,000	3,443,000
	事務費支出	71,522,000	68,465,000	3,057,000
	就労支援事業支出	202,040,000	194,000,000	8,040,000
	支払利息支出	950,000	795,000	155,000
	その他の支出	630,000	535,000	95,000
	事業活動支出計(2)	585,739,000	592,699,000	△6,960,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	22,161,000	4,393,000	17,768,000	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	1,800,000	1,050,000	750,000
	施設整備等寄附金収入		218,000	△218,000
	固定資産売却収入		110,000	△110,000
	施設整備等収入計(4)	1,800,000	1,378,000	422,000
支出	設備資金借入金元金償還支出	5,004,000	5,004,000	0
	固定資産取得支出	29,890,000	12,564,000	17,326,000
	施設整備等支出計(5)	34,894,000	17,568,000	17,326,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△33,094,000	△16,190,000	△16,904,000	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	24,890,000		24,890,000
	その他の活動収入計(7)	24,890,000	0	24,890,000
	積立資産支出		1,000	△1,000
	その他の活動による支出		29,000	△29,000
その他の活動支出計(8)	0	30,000	△30,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	24,890,000	△30,000	24,920,000	
予備費支出(10)				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	13,957,000	△11,827,000	25,784,000	
前期末支払資金残高(12)	260,387,437	276,326,437	△15,939,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	274,344,437	264,499,437	9,845,000	

令和6年度 年間予定

令和6年	4月	1日	新年度辞令交付式 永年勤続表彰	令和7年	10月	19日	地域交流会(桜田南拠点・天童拠点)
		25日	苦情直接受付(桜田南拠点) 苦情解決合同会議			24日	総合防災訓練(桜田南拠点)
	5月	11日	職員研修		30日	総合防災訓練(天童拠点)	
		23日	総合防災訓練(桜田南拠点)		11月	7日	苦情直接受付(桜田南拠点) 苦情解決合同会議
		24日	総合防災訓練(天童拠点)			9日	職員研修日
	30日	監事監査	12月		19日	第270回理事・監事会	
	6月	6日			第268回理事・監事会	1月	6日
		21日	検診車による健康診断		17日		苦情直接受付(天童拠点)
		25日	第66回定時評議員会		2月		15日
	27日	苦情直接受付(天童拠点)	20日			苦情直接受付(桜田南拠点) 苦情解決合同会議	
8月	17日	職員研修	3月	15日	第271回理事・監事会		
	29日	苦情解決合同委員会					
	9月	19日		第269回理事・監事会			

## 桜田南いきいきサロン

いきいきサロン代表

吉野 伸子

いつも使わせていただき、ありがとうございます。桜田南いきいきサロンと申します。

概ね七十代以上の高齢者の集まりです。

お陰様で、コロナー就労サポートセンターの二階で、月二回集まりをもってから、早や十一年となりまして。

月のうち一回は、様々な分野の方に依頼して、年齢に応じた運動や、日々の暮らしの中で留意したいこと（運動と呼吸法・栄養の摂り方・音楽と口腔の健康・睡眠・薬の飲み方・熱中症と予防法・日光に当たる事が身体を作る事・社会とつながることの大切さ等々）



桜田南いきいきサロンの代表の吉野様からご寄稿いただきました。当法人は地域の方々の活動に施設を開放したり、共に活動をしています。今後とも地域との連携を図って参ります。吉野様ありがとうございました。

## 地域交流



## 活動

### 坂巻川草刈り

令和6年度より地域貢献委員長になりました、営業課の東海林と申します。

実際に地域貢献委員会で行っているか分からない方もいるかと思っておりますのでこの機会に具体的な活動内容を改めてお伝えしたいと思います。主な作業としては、坂巻川の草刈清掃活動になります。やっている場所としては、会社に向いている坂巻川全長約300mになります。初めに草刈機の講習



を受講します。内容は草刈り機の使用方や安全に作業をする上での注意事項を確認等です。それを踏まえ年3回（6月上旬、7月下旬、10月上旬）それぞれ2週間程度で1回1時間程度の作業を実施しております。草刈作業が終わったら法面の雑草抜きをし、ゴミ拾い等の清掃作業をしています。委員会が発足した頃よりも人は増え、今では福祉工場の方以外の方々が協力を頂いております。梅雨も明け暑い日々が続きますが、今後も全職員協力のもと坂巻川の美化・保安に努めてまいります。

## 各事業所の活動紹介

## 就労継続支援A型

最近のテクノロジーやインターネットの発展に伴い、デザインの世界もずいぶんと変わり、以前よりも斬新なものや洗礼されたデザインを至るところで見られます。専門職でなくとも簡単に作成できてしまう状況になり、これまで『印刷のルール』とされてきた決まり事が歪められた媒体も多く見かけるようになりました。新しい取り組みは必要ですが、昔ながらの価値観や技術を大切にする姿勢も忘れてはならないと思います。



に、より多くの人に喜んでいただけるものを作って行きたいです。  
(青山)

令和6年6月22日(土)就労支援講座「卒業生・事業所の方のお話を聞く会」を開催しました。講師としてシードをご利用いただき、卒業後一般就労された先輩とお母様、B型事業所・生活介護事業所『わたしの会社』の各サービス管理責任者様にお越しいただきお話を伺いました。将来のことをイメージしたり、今から取り組みそうなヒントを沢山いただきました。お話を聞く会の後に、小グループに分かれて進学先や進路をどのようにつけて行ったら良いか、見学や実習についてなどの話題で話し合いました。講師の皆様、ご参加くださった皆様、ありがとうございました。  
(塚野)



## 放課後等デイサービス(山形)

## 卒業生・事業所の方のお話を聞く会

## 児童発達支援

## 活動紹介「ふれあい遊び」

ういうる天童ではリズムや歌に合わせて一緒に身体を動かすふれあい遊びをしています。目と目を合わせてニコッと笑ったり、くすぐられるのを楽しんだりしています。

身体に触れてスキンシップやコミュニケーションを図ることで、安心感や親しみを持ち、心の安定や社会性を育むことに繋がっています。「楽しい」「安心する」「温かい」などの様々な経験を一緒にすることで愛着形成にも繋がります。

お家でも遊びやすいため、覚えてたふれあい遊びを一緒にしているご家庭の話もよく聞かれます。これからの「また遊びたい!」と思ってもらえるような楽しいことを考えて実践していきます!



(増子)

## 放課後等デイサービス(天童)

## バスの乗車訓練

山交バスさんをおよびしてバスの乗車訓練を行いました。

小学校低学年は親子でバスを探検しました。整理券を取って乗車し、椅子に座って見たり、止まれのボタンを押してみたり、帽子を被って運転席に座らせてもらう事が出来ました。

小学校高学年から中学生は、よりバスに乗る機会をイメージするために、自宅近くのバス停や時刻表を調べる事前学習を行いました。

その後、バス停の時刻表や料金表の見方の確認をしました。また、整理券を取って乗車し、停車ボタンを押して、お金を両替してから料金を支払い下車する一連の流れを実際に体験しました。

体験の後には「二人だと緊張するけど、お母さんと一緒だったら乗れそう!」「バスもICカードで支払いができる」と初めて知った。」と感想を聞くことができました。今回の活動をきっかけに、それぞれのご家庭で実際にバスに乗る体験をしてもらえればいいなと思います。  
(相馬)



就労継続支援B型

デジタル化事業  
 ～新たな仕事への挑戦～

書籍デジタル化の他に今年6月から新たにドキュメントスキャナ等を使った事務文書等のデジタル化作業を開始しました。福祉工場と連携しながら、コピーセンターで中心的に作業を進めています。書籍だけでなく事務文書等の受注にも力を入れ、大事な資料を残すという仕事に責任とやりがいを持ち、共に力を合わせてこれからの質の高い作業を行っていきたいと思います。

(金澤)



共同生活援助

日々、仕事をしている入居者さんに  
 余暇支援を開始しました！

7月6日(土)入居者さん6名と外出してきました。作谷沢の「そば処 弁天」にてお店近くの泉の水で作ったそばに本わさびと野菜の天ぷらを食べました。女性でも大盛を頼む方もいて、「そばの香りする！美味しいね！」とそばを堪能する事が出来ました。食後は玉虫沼農村公園にてラベンダーを鑑賞し、花々の写真を熱心に撮影している方も見受けられました。その後は出塩文殊堂にてアジサイを鑑賞しながら参拝してきました。参道の上り坂に「はーはー」と息を切らしながらもアジサイを楽しんできました。「楽しかったーまた行こうね」と皆さん喜んで下さり、いい1日を過ごすことが出来ました。

(井上)



就労移行支援・定着支援

職場見学でスーパーおーばんへ!!

就労サポートセンターでは一般企業での就労を目指す方々が訓練しています。中でも『実際の現場を見て、リアルなお話を聞く』を大切にしています。今回は事業所のお隣のスーパーおーばん桜田店さんで店内をはじめ、青果、生鮮食品などのバックヤードを見せていただきました。

「明るい挨拶ができる」「がんばって仕事ができる」など働く上で大切なことを店長さんにお伺いすることができ大変貴重な機会になりました。

(神保)



村山障害者就業・生活支援センター

職業生活に役立つ  
 リフレッシュや学び

ワークライフサポートふうれでは、就業等についての相談支援のほかに余暇活動支援ということで、在職者の方を対象にした外出の企画やふうれに登録されている方全員を対象にしたセミナー等を開催しています。今年度は5月にふうれ初県外へ！八木山動物園へJRと地下鉄を乗り継いで行って来ました。またセミナーでは食中毒についてのクイズや動画で予防法を学び、学んだ知識を生かして参加者全員でカレー作りを行いました。これからの職業生活に役立つリフレッシュや学びを企画していきたいと考えています。

(伊瀨)



## アビリンピック山形県大会に出場して

### 山形福祉工場

7月4日(木)アビリンピックやまがた2024が山形ビッグウイングを会場に行われました。

山形福祉工場からはDTP部門に後藤亮介さん、オフィスアシスタント部門に鈴木博一さんが参加してきました。

鈴木さんは高い集中力をもって作業を正確に行いスピーディーに仕上げていることで、念願の優秀賞を受賞することができました。

また、後藤さんは限られた時間の中で知識・技能・感性を駆使して効果的な作品作りに挑み、昨年に引き続き技能賞を受賞することができました。

周りの選手から大きな刺激をもらい、今後に向けて良い経験になったようです。

11月に愛知県で開催される全国大会に出場予定の鈴木さんと後藤さんには、さらに練習を重ね、技術を向上させて、上位入賞を目指して頑張ってくださいと思います。

(平田)

### アビリンピック2024やまがたに出場して

福祉工場 鈴木 博一

去年は、うまくできず悔しかったので、この1年間は毎日練習してきました。目標は、優勝する事でした。本番は緊張してミスってしまいました。時間がギリギリ出来ました。まさか優勝できるとは思わなかったので泣いてしまいました。職場の人も僕のところにかけてくれて、みんなも喜んでくれてすごうれしかったです。全国の目標は、仕分けをいっぱい出来るように、これから、日々の練習を頑張っていきたいです。



福祉工場 後藤 亮介

今回の大会は緊張のあまり、使う画像の選択や配置で迷ってしまい、思った以上に時間がかかってしまいました。

それでも職場の上司や先輩方の指導やアドバイス、前回の反省点を踏まえて時間内に作品を制作し、結果、技術賞を獲得できました。

参加者の作品を見て、自分では思いつかなかった表現の仕方を知ることができ、とても勉強になりました。

この経験を日々の業務に活かし、次回はより良い作品を制作していこうと思います。



### 就労サポートセンター

就労サポートセンターからは「喫茶サービス」に1名が参加しました。他の競技とは違い、立ち居振る舞いや臨機応変さが求められる難しい競技。日頃の訓練の傍らコツコツと自主練や職員をお客さん役に練習を重ねました。最初は立つ姿勢と言葉、本番に近づくにつれて細かい所を根気強くがんばりました。本番中は緊張も無く他の方を研究する余裕もあり、競技終了後は「楽しかった」「また機会があったら出たいです」といつも通りのTさんでした。

(神保)



## 仲間たちのこえ



## 初めてだったアビリンピック

シード山形利用者

M.C

僕はオフィスアシスタントに出場しました。学校では、先生からアドバイスをもらいながら、書類仕分けや封筒に書類を入れる練習をしました。シードでも、郵便物仕分けの練習をしました。本番では、シールが無くなった時の報告もきちんとでき、練習の成果を出し切ることができました。残念ながら全国大会には行けませんでしたが、来年は、喫茶サービスで全国大会を目指したいです。



## 初めての調理実習

就労移行支援利用者

近藤 夏輝

始めに班ごとに分かれておーばんに材料を買いに行きました。今回作ったメニューは、ミートパスタとデザートです。当日、デザート係とパスタを作る係に分かれ、自分は玉ねぎをみじん切りにする担当でした。少し難しかったですがうまくいきました。パスタもゆであがり、おいしいミートパスタを作ることができました。デザートも美味しくできました。片付けも協力してできました。また機会があれば参加したいです。



## 挑戦への勇気と可能性

B型事業部センター利用者

山本 鏡介

コロナーセンターで仕事を始めて4ヶ月。現在、書籍のデジタル化作業を頑張っています。また、ドキュメントスキャナを使った資料のデジタル化作業にもチャレンジすることになり、覚えることが多くとても大変でしたが、勇気をもって挑戦したことで多くの可能性が広がったと思っています。不安もありましたが、職員さんのおかげで前に進めた気がします。新たなことにチャレンジし可能性を広げられたことが私の成果です。

シリーズ 人権を考える

## あるドラマから感じたこと

事務局長 木村 正明

NO.3

令和6年1月から3月に、昭和時代と令和時代をタイムスリップするドラマが放送されました。価値観の変化等がコメディイ調で描かれており、昭和を経験してきた者として、改めて現代社会におけるコンプライアンス等について考えさせられました。

昭和は嫌な思いをしても一人ではなかなか声を上げられない時代であり、声を上げたとしても潰される、一般的にはそんな時代だったように思います。令和は嫌なもの嫌だと意見を言える時代となりました。その背景には、一人の声を理解する人や理解したいと思う人が増えたことのほか、多様性が尊重される社会情勢の変化もあると思います。

また、昭和はコンプライアン

「自分のルー ルだ。」等と発言する人までいたことを記憶しています。平成以降は、コンプライアンスが重視され人権が尊重される社会になってきましたが、未だに差別や偏見等で苦しむ方の報道も多くあります。時代はスピードを上げて進んでいます。人間の気持ちや考え方は変化のスピードと並行して進歩していくようなものではないと思います。その誤差がある限り、根本的な課題の早期解決も難しいものです。

相手を尊重し相手の立場になって話し合い、自分とは違う価値観であったとしてもそれを認めることができれば、理想とする多様性のある社会に近づくとおもいます。

たくさんのご厚意を  
頂戴しました

サントリービバレッジのリニューアル株式会社様より、山形県コロニー協会に災害用防災用品としての飲料水(2ℓペットボトル×6本入を20箱)のご寄付を賜り、誠にありがとうございました。二本の川に挟まれた土地に立地する当協会では、地震だけでなく水害への備えも必要だと常日頃考えています。万が一の際、「水」は命の源。「自然の驚異」に備えるための大切な備品、防災グッズとなりました。本当にありがとうございました。



## 紙文書のスキャンニング(電子化)で オフィスの無駄を一気に解消しませんか?

私たちは新たな事業として資料のスキャンニングサービスを開始いたしました。紙文書の山を電子化して、スペースと時間を節約しませんか?高品質なスキャンニングを障がいのあるスタッフが心をこめて一枚一枚スキャンしています。迅速かつ正確な電子化をお約束し、大容量の資料もお任せください。



[ 業務効率が劇的に高まります。 ]

### ほしい情報がすぐに見つかる

膨大な書類も、電子化してしまえば瞬時に検索・閲覧することが可能となり、業務効率は格段にアップします。複数の拠点でそれぞれ管理していた資料・文書も、文書管理システムでつなげばすべての拠点で共有できます。

### 保管スペースを一気に削減

オフィスにあふれる書類を電子化して処分すれば、使えるスペースが大きく広がります。書庫からの持ち出し管理など、保管に伴う負担から解放され、用紙の無駄もなくなります。

### 貴重な原本も、電子化すれば安心

長期間にわたり保管している文書や書籍は、劣化・汚損・破損などが心配です。1冊しかない原本などを万一の事故や災害で失わないためにも、電子化は必須の選択です。

### 本の解体をしないでデータ化 できます!

#### 非破壊スキャン

貴重本や保管が必要な文書は、原本を断裁せずにそのままスキャンできます。

#### 再製本

1冊しかない貴重な本は、スキャンして再製本することで、気軽に閲覧できるようになります。



ブックスキャナ

### 書類や書籍の他、 様々な資料の電子化もできます!!

- 各種文書 ●ポスター、出品作品、受賞作品などの1点もの
- 絵図・軸装などの大判 ●ポジフィルム、ネガフィルム
- カセットテープ音源 ●VHS映像 など

その他、なんでもご相談ください!

お問い合わせ先

山形福祉工場

TEL 023-641-1136



21号

2024.8 August

2024年8月5日発行

- 山形県コロニー協会  
〒990-2322 山形県山形市桜田南1-19  
TEL 023-641-7335 FAX 023-641-7368  
発行責任者 須貝 壽一

<http://www.yamagata-colony.or.jp/>



### 編集後記

いよいよ本格的な夏が始まりました。皆さんいかがお過ごしですか?

今年の夏はパリオリンピック。パラリンピックもあり選手活躍に目が離せませんね!暑さに負けず、楽しい夏をお過ごしください。また、次号でお会いしましょう。

(加藤)